

つれづれ

平成29年7月19日(水)

親孝行



先日来、妻の母が体調不良を訴えていました。近所のお医者様に診てもらったところ、精密検査が必要とのことでした。

昨日は、義母と総合病院に行き、いくつかの検査をしていただきました。時間のかかる検査が多く、ほぼ1日かかりでした。それぞれの検査が終わるのを待っている間に、いろいろと思いを巡らせていました。そのうちの一つのことについて、

皆さんに伝えたいと思います。

私の母はとうに亡くなっています。病気で亡くなったのですが、その後、母が生きている間に、もっと親孝行をしておけばよかったと後悔しました。

義母の体調不良に接し、自分の母にできなかった親孝行ができるのは今しかない、という思いが強く湧いてきました。自分の今の生活を振り返ったとき、目の前のことに追われ、親孝行というとても大切なものを忘れかけていたような気がします。

ところで、皆さんは親に感謝できているでしょうか。また、それを行動で表すことができているでしょうか。私にも経験がありますが、中学生の皆さんは、親に反抗することもあるかもしれません。

それも、思春期の皆さんにとっては、通るべき道の一つであることは確かです。

しかし、これだけは分かってほしいことがあります。親がいなければ、自分はこの世に存在しない。親はいつまでも元気であるとは限らない。そして、親は子どもの幸せをいつも願っている。

これらのことは、紛れもない事実です。そうであれば、今、自分が存在することに対して、感謝に心を持つとともに、心して親孝行をすべきではないでしょうか。

『孝行のしたい時分に親はなし』

『親孝行は国づくりの基本』

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>